

2022年3月期第2四半期連結決算に関する 補足説明資料

証券コード：6745

2021年10月29日

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。



(百万円)	前年同期 20.2Q 累計実績	当第2四半期 21.2Q 累計実績	対前年同期比
売上高	32,898	35,810	2,911 ※1 (2,402)
営業利益	794	1,298	503
営業利益率	2.4%	3.6%	1.2ポイント
経常利益	768	1,301	533
経常利益率	2.3%	3.6%	1.3ポイント
親会社株主に帰属する四半期純利益	548	955	407
親会社株主に帰属する四半期純利益率	1.7%	2.7%	1.0ポイント
為替レート (円/USD)	106.93	109.81	※2 2.88
為替レート (円/GBP)	135.41	152.49	※2 17.08
為替レート (円/GBP) ケンテック	136.40	149.79	※2 13.39

※1 カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

※2 為替レートの対前年同期比マイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しております。

決算のポイント

売上高

- 対前年同期比で29.1億円増収。
- 海外事業において、主に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年から需要が回復したことにより売上高が増加。為替影響額は5.0億円。
- 国内事業においては、リニューアル、メンテナンス事業が堅調に推移。
- 収益認識会計基準適用による工事進行基準適用範囲の拡大も影響。

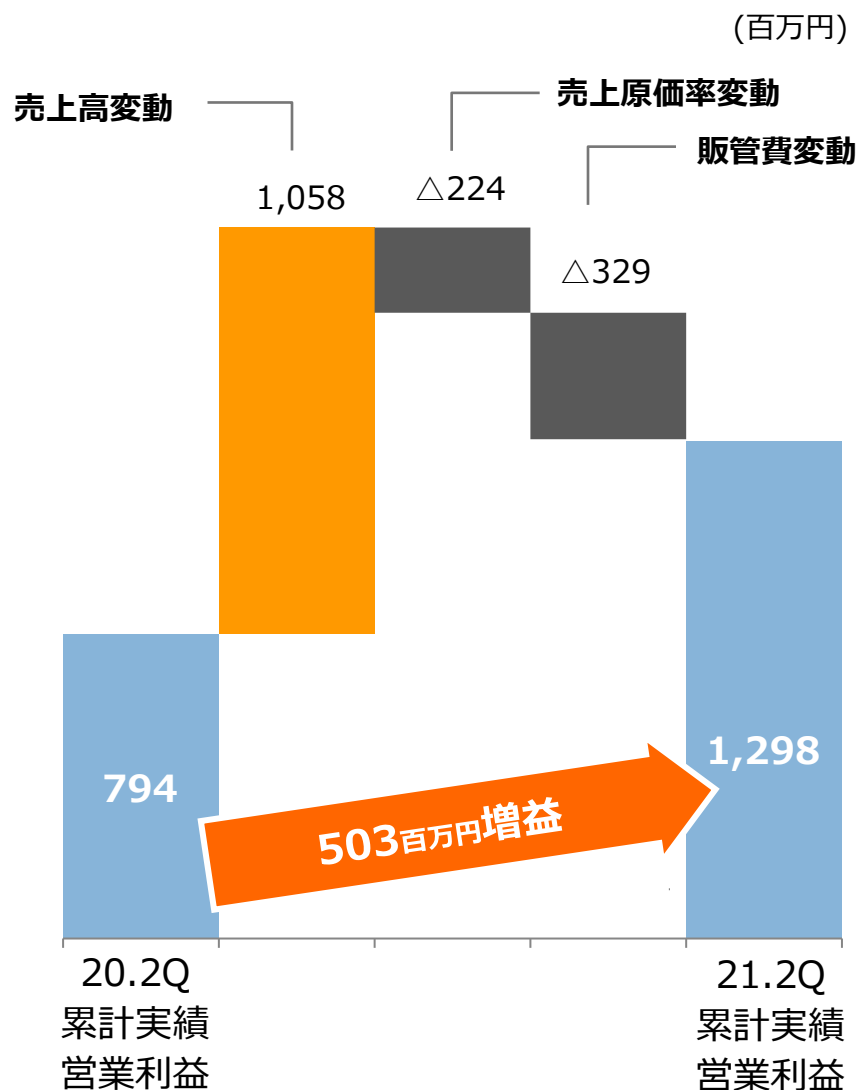
営業利益

- 対前年同期比で5.0億円増益。
- 主に海外事業が好調に推移したことが増益を牽引した。

(百万円)	当第2四半期 21.2Q累計実績		対前年同期比		対一昨年同期比	
	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	35,810	100.0%	2,911	8.9%	△ 2,135	-5.6%
国内	29,390	82.1%	1,340	4.8%	△ 2,828	-8.8%
海外	6,419	17.9%	1,571 (1,062)	32.4% (21.9%)	692 (285)	12.1% (5.0%)
北米/中南米	831	12.9%	△ 35 (△57)	-4.1% (△6.6%)	△ 102 (△111)	-10.9% (△11.9%)
アジア・パシフィック	1,391	21.7%	377 (335)	37.3% (33.1%)	82 (58)	6.3% (4.5%)
欧州/中東/インド	3,070	47.9%	972 (628)	46.4% (30.0%)	619 (299)	25.3% (12.2%)
ケンテック	1,126	17.5%	256 (155)	29.5% (17.9%)	93 (38)	9.1% (3.7%)

※ カッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

為替レート	21.2Q	20.2Q	19.2Q
USD	109.81	106.93	108.60
GBP	152.49	135.41	136.64
GBP (ケンテック)	149.79	136.40	142.44



売上高変動

- 海外・メンテナンス事業の順調な伸長によるもの。
- 為替円安や収益認識会計基準適用による工事進行基準適用範囲の拡大も影響。

売上原価率変動

- 収益認識会計基準適用に伴い、原価率が悪化。(適用初年度に限った対前年変動)

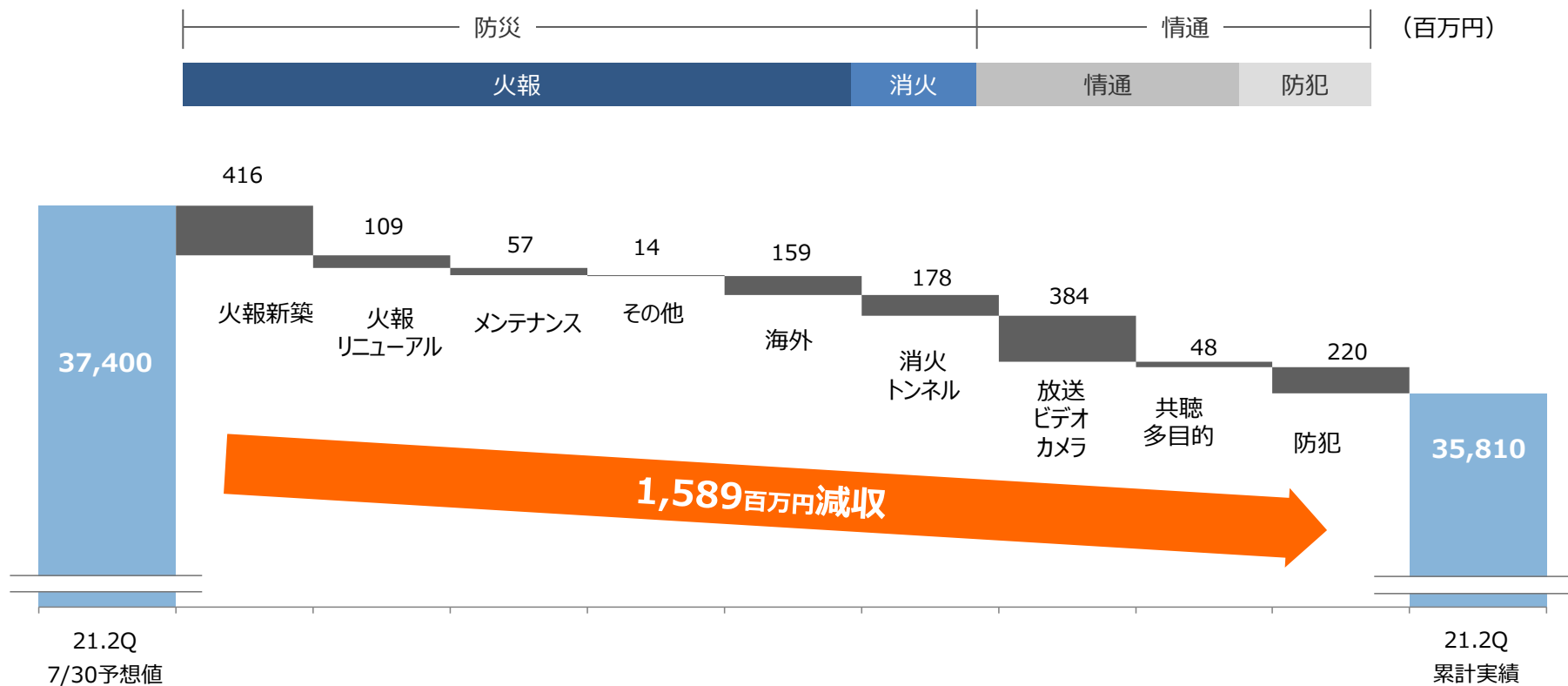
販管費変動

- 販管費人員の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限の状況変化に伴い活動費が増加。

主要セグメント利益増減額

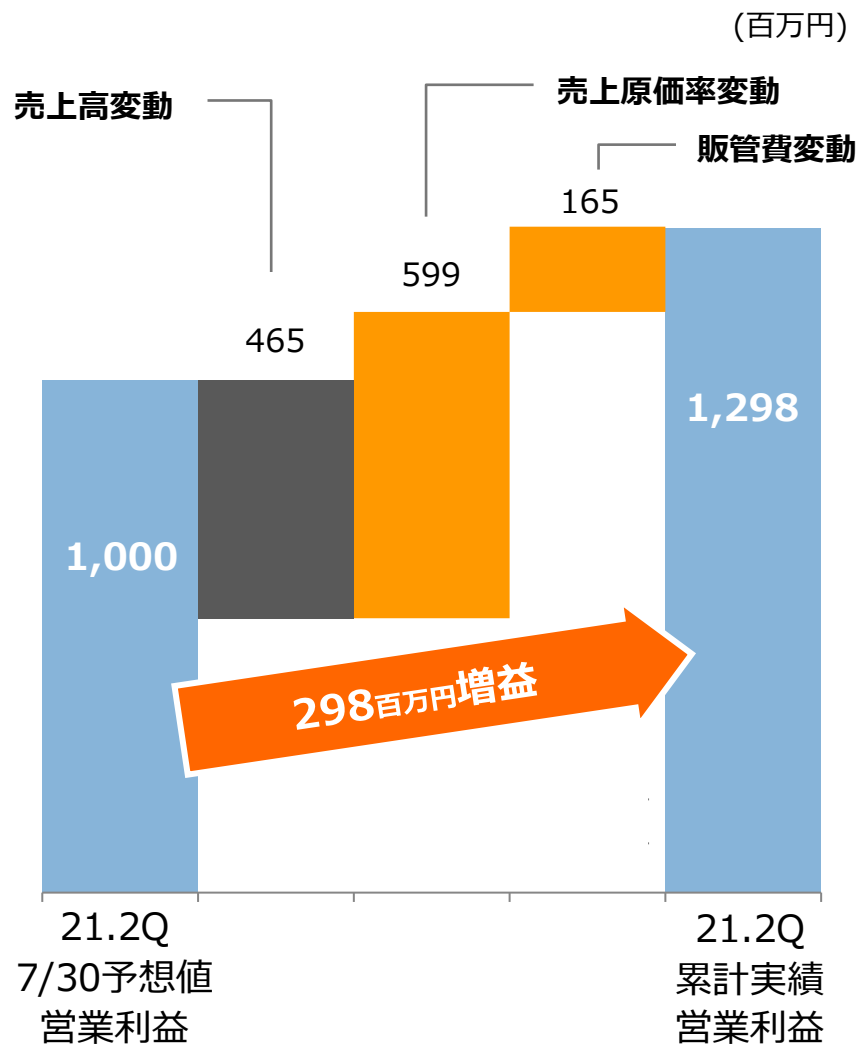
火 報	+6.3億円
消 火	△1.5億円
情 通	+0.3億円
防 犯	+0.7億円

※火報のうち、海外分は+4.7億円
 ※全社共通費影響△0.9億円
 ※収益認識会計基準適用影響+3.0億円



ポイント

- 主に工事案件における工事進捗が当初想定を下回ったこと、完工時期の遅延によるもの。



売上高変動

- 主に工事案件の進捗遅延によるもの。

売上原価率変動

- 主に原価低減努力効果によるもの。

販管費変動

- 主に固定費削減効果によるもの。

主要セグメント利益増減額

火 報	+2.3億円
消 火	+0.5億円
情 通	+0.6億円
防 犯	△0.2億円

※火報のうち、海外分は+1.3億円
 ※全社共通費影響△0.2億円

2022年3月期 連結業績予想修正概要

(百万円)	22/3月期 7/30修正発表値	22/3月期 10/29修正発表 値	修正発表値差異	前年同期	対前年同期比
売上高	76,500	79,700	3,200	76,567	3,132 ※1 (2,243)
営業利益	4,000	5,300	1,300	5,180	119
営業利益率	5.2%	6.6%	1.4ポイント	6.8%	△ 0.1ポイント
経常利益	4,000	5,300	1,300	5,273	26
経常利益率	5.2%	6.6%	1.4ポイント	6.9%	△ 0.2ポイント
親会社株主に帰属する当期純利益	2,800	3,900	1,100	3,825	74
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.7%	4.9%	1.2ポイント	5.0%	△ 0.1ポイント
為替レート (円/USD)	105.00	108.67	※2 3.67	106.10	※2 2.57
為替レート (円/GBP)	135.00	151.21	※2 16.21	138.74	※2 12.47
為替レート (円/GBP) ケンテック	135.00	149.41	※2 14.41	137.01	※2 12.40

※1 対前年同期比のカッコ内の数値は為替影響額を除いた値を示しております。

※2 為替レートの修正発表値差異及び対前年同期比マイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しております。

予想修正のポイント

売上高

- 前回予想から32.0億円上方修正。
- 国内事業は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響が期初想定と比較して小さく、受注高が堅調に推移していることを踏まえたもの。
- 海外事業は、システム販売強化施策の進展を反映したもの。
- 今後の事業環境のリスクとして、半導体需給逼迫による生産への影響を織り込む。

営業利益

- 前回予想から13.0億円上方修正。
- 売上収益増加、採算性のよい案件受注による原価率改善によるもの。
- 今後の事業環境のリスクとして、半導体需給逼迫による生産への影響を織り込む。

(億円)

合計 : 765

+32

合計 : 797

セグメント構成

■ 海外売上高比率

22/3月期 7/30時点予想値 15.0%

22/3月期 10/29時点予想値 15.5%

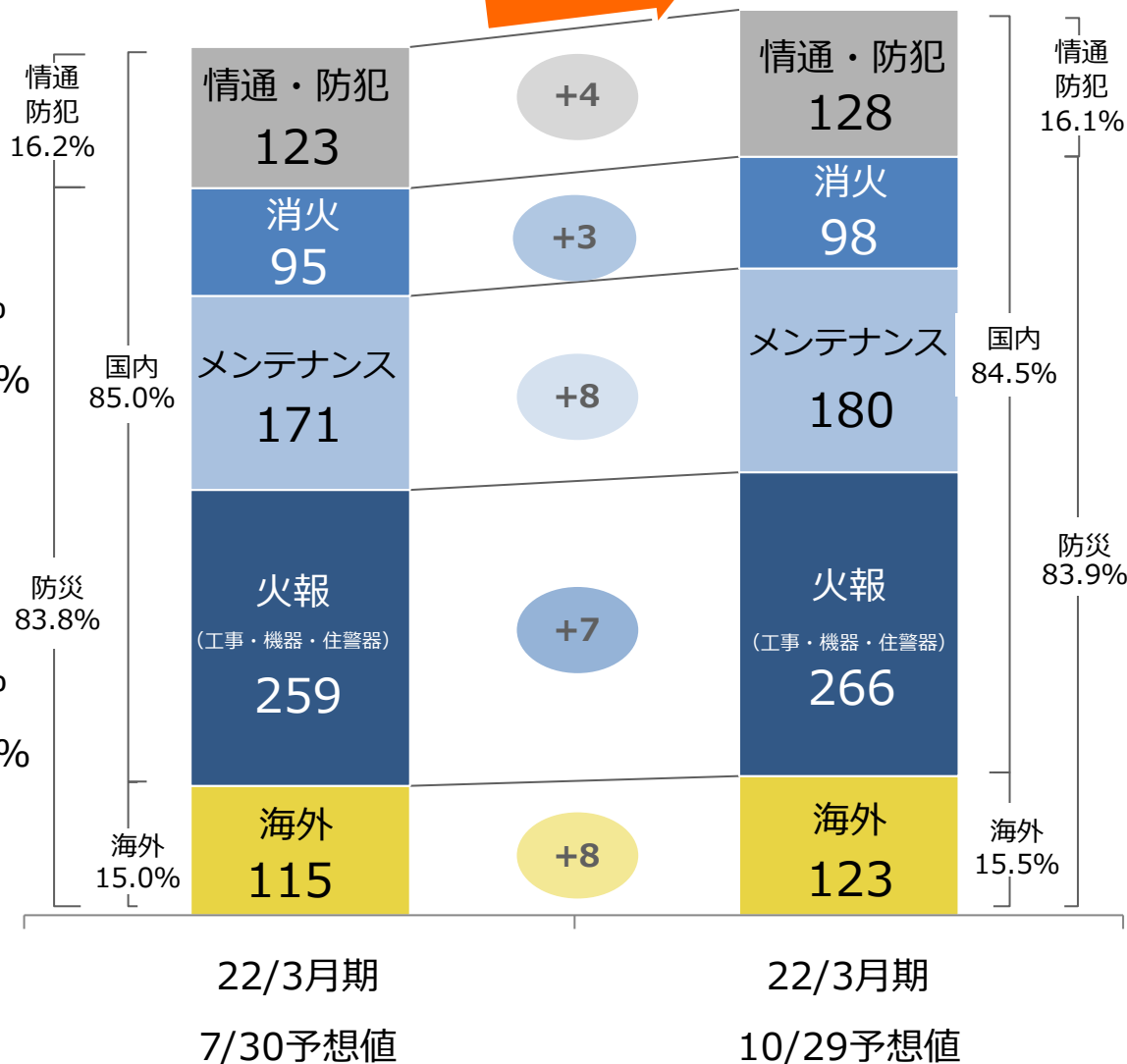
0.5ポイント 増加

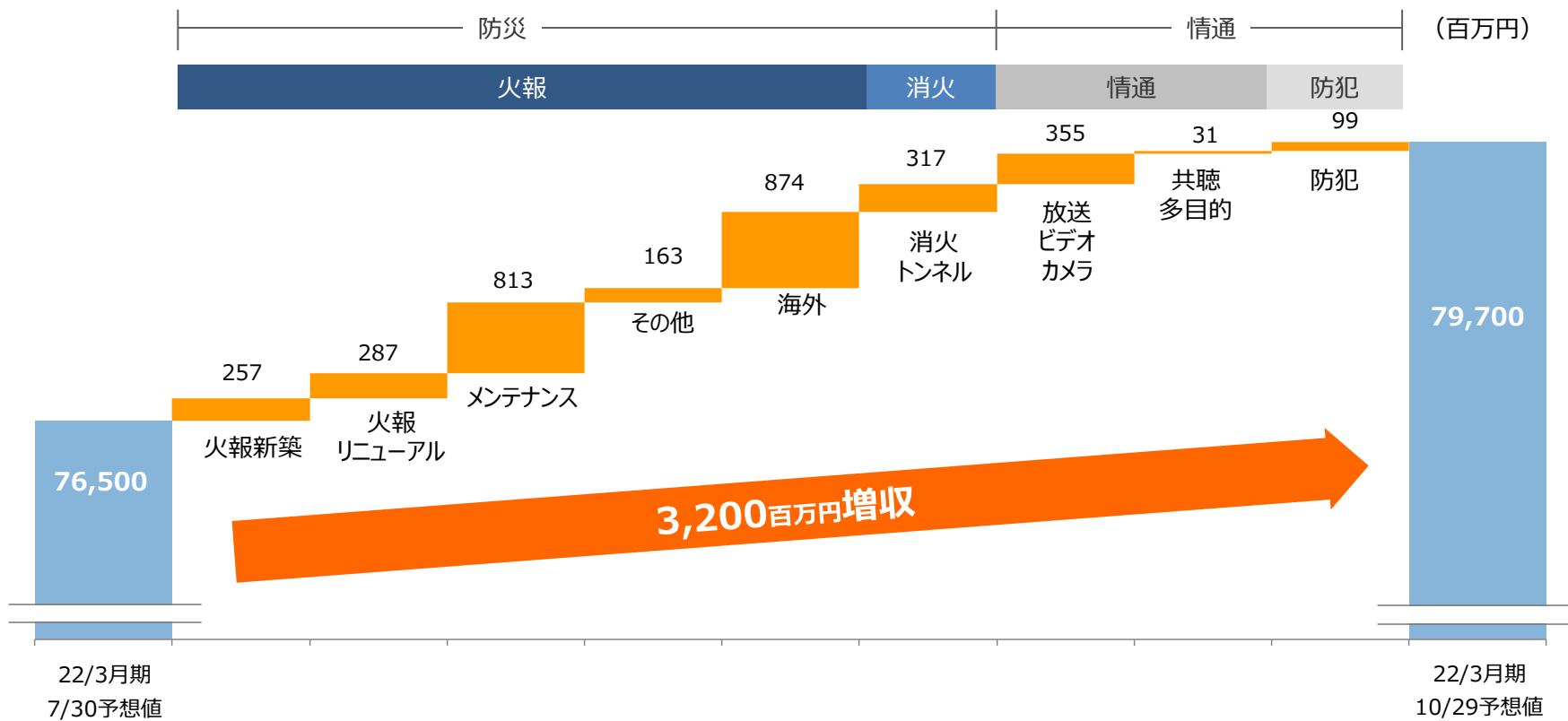
■ 防災セグメント比率

22/3月期 7/30時点予想値 83.8%

22/3月期 10/29時点予想値 83.9%

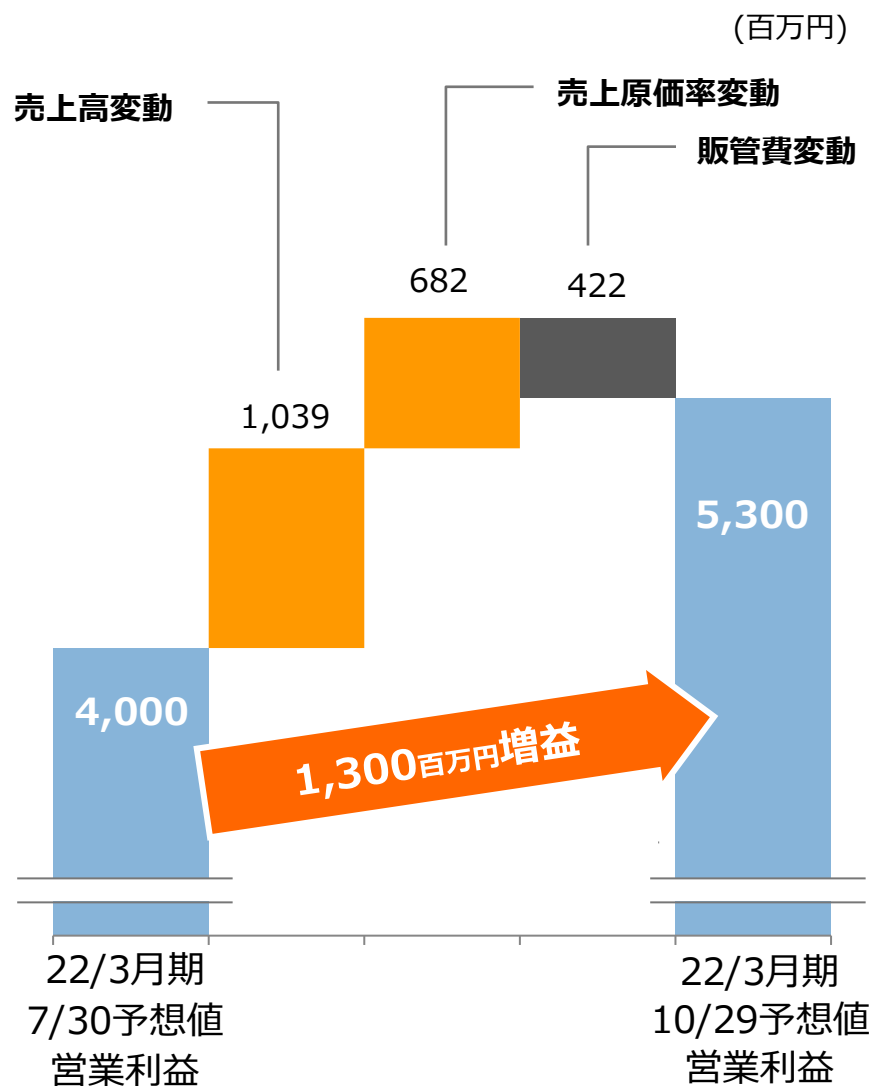
0.1ポイント 増加





ポイント

- 海外事業は、上期実績を踏まえ、下期においてもシステム販売強化施策を進める。
- メンテナンス事業は、定期点検・整備工事共に安定伸長することを見込む。
- その他のセグメントにおいても堅調な受注高を踏まえ、増収を見込んでいる。



売上高変動

- 海外・メンテナンス事業を中心とした堅調な受注状況を背景とし、増収を見込む。

売上原価率変動

- 採算性の良い案件の受注獲得によるもの。

販管費変動

- 売上高増加に伴う活動費の増加によるもの。

主要セグメント利益増減額

火報	+10.9億円
消火	+1.0億円
情通	+0.4億円
防犯	+1.5億円

※火報のうち、海外分は+2.1億円
 ※全社共通費影響△1.0億円

本資料には将来予測に関する記述が含まれております。

将来予測に関する記述にはその他の情報とあわせて、当社グループの将来の成長計画が含まれております。この将来予測は当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来の出来事に関する現在の当社の見通し、期待、計画が記述されているに過ぎません。我々はこの将来予測について、新たな結果に関する情報や将来の出来事によっても、最新情報への更新や修正の義務を負うものではありません。

また、本資料中で論じられる予測の対象となる将来の出来事は、現実には起こらないか或いは予期されたことと大きく異なる可能性があり、これらの違いには多くの要素が原因となりえます。

本資料において使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標又は出願商標です。

お問い合わせ先

ホーチキ株式会社 経営企画室
石井

TEL 03 (3444) 4115

E-mail team_ir@hochiki.co.jp